

自然と文化科 1 泊旅行の活動記録

| | | |
|----|---|--------------|
| 日時 | 2024年10月3日(木) 1日目 | 担当者 |
| 場所 | 【葦毛湿原から伊勢路をめぐる旅】 西梅田(8:00)～(阪神・第二京阪・新名神)～土山SA(休憩)～(新名神・伊勢湾岸・東名)～(10:40)刈谷PAで昼食(12:00)～豊川IC～(13:00)豊川地下資源館(葦毛湿原の説明・プラネタリウム見学)(15:50)～(16:30)豊川稲荷(17:00)～(17:30)ホテル着 | 文・写真 早川 憲 |
| 備考 | 参加者数：1班15名・2班10名・3班9名・4班10名 合計44名 | 天候：雨 |

天気予報のとおり、朝からの雨の中、西梅田を予定の時間で出発した。途中で今日の葦毛湿原でガイドをしていただく方から、「湿原は、ぬかるみ状態で木道も滑るため観察には危険が伴う。中止したほうが良い」とのアドバイスが有り、本日の観察会は中止して代わりにパワポにて葦毛湿原の説明を聞くことに変更となった。【残念】

予定より20分早く刈谷PAに到着し、休憩・昼食となる。PAに併設された刈谷ハイウェイ・オアシスという施設(レストラン・売店・観覧車・温泉等が有る)で充分時間を取る。観覧車で楽しんだ人もいた。



東名高速の豊川ICで降り、豊橋地下資源館・視聴覚教育センターに13時に到着、豊橋市観光ボランティアの3人の出迎えが有り、「葦毛湿原の魅力を味わう」をテーマで約1時間程度の話が有った。

その後、併設されているプラネタリウム・地下資源や鉱物の展示を見学、又参加型展示物で体験するなど、大いに楽しんだ。



15:50に地下資源館を出発して、16:30に豊川稲荷に到着。参拝に出発

する時点で豪雨となる。半数以上のメンバーが参拝に、後のメンバーはバスに残る。約30分後には

参拝したメンバーが、びしょ濡れになって戻ってきた。(きっと沢山なご利益を授かるでしょう) 17:30分にホテルに到着。夕食会や二次会(参加者約37～38名程度)は大いに盛り上がった。



今回は残念ながら観察に行けなかった「葦毛湿原」についての解説。豊橋市岩崎町に位置し、湿地では地域固有種など珍しい植物が見ることができ、「東海のミニ尾瀬」として有名。標高70m前後の緩やかな傾斜地に広がる湧水湿地(湧水が染み込まず地表に流れ続けることで作られた湿地)で世界的にも珍しく東海地域独特のものと言われている。2021年10月に国の天然記念物に指定された。

下記にボランティアガイドの野口博口氏に、秋に見られる可能性が有る、草花の写真を頂きましたので紹介します。



シラタマホシクサ



イワショウブ



サワシロギク



スイラン



コバノカモメヅル

今回は「葦毛湿原」に行けなかったが、機会が有れば是非訪れたい。